

○これまで管内の流域では、平成13年の台風21号などにより甚大な被害が発生しており、さらに今後の気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、国・県・市町村・企業など流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させるためのハード対策やソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」を策定・公表し、**流域治水を推進**していく。
○**清武川水系など8水系**において、流域治水を推進していくことで、災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりの実現に取り組んでいく。

主要な出水被害

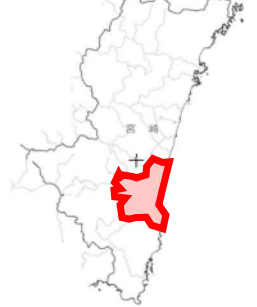
平成13年10月	台風第21号
平成16年6月・8月	台風第4号・台風第16号
平成17年9月	台風第14号
平成28年9月	台風第16号
平成29年9月・10月	台風第18号・台風第22号
平成30年9月	台風第24号
令和3年9月	豪雨



対象水系

- 1)石崎川水系
- 2)清武川水系
- 3)加江田川水系
- 4)知福川水系
- 5)突浪川水系
- 6)内海川水系
- 7)野島川水系
- 8)小内海川水系

位置図



流域の関係者



- ▶ **宮崎市**（土木課、都市計画課、危機管理課、森林水産課、農村整備課、下水道整備課、清武総合支所 農林建設課、佐土原総合支所 農林建設課、田野総合支所 農林建設課）
- ▶ **森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所**
- ▶ **宮崎県**（宮崎土木事務所、中部農林振興局、河川課、都市計画課、砂防課、危機管理課、建築住宅課、自然環境課、森林経営課、農村計画課、農村整備課）

流域治水プロジェクトの内容

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 洪水氾濫対策
- 土砂災害対策
- 森林の整備・保全、治山施設の整備
- 流域の雨水貯留機能の向上
- 高潮、地震・津波対策

2. 被害対象を減少させるための対策

- リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 防災学習の推進・防災力の強化
- 土地のリスク情報の充実・提供
- 防災情報、避難体制の検討・連携強化